



三木町

No.140  
2012.July

# 議会だより

<http://www.town.miki.lg.jp/>

菜の花と  
白山と  
こどもたち  
(下高岡保育所のみなさん)



## 6月定例議会

- 議案を審議 ..... 2~3
- 一般質問 ..... 4~11  
8人が登壇・町長に見解を求める
- 元気なグループ紹介 ..... 14  
二本杉ほがらか会

# 6月 定例議会



▲本会議採決の様相 (H24.6)

## 重度心身障害者・ひとり親家庭

## 医療費一部負担限度額の撤廃

### 2件の報告事項と全議案を審議・採決

平成24年第2回定例議会は、6月7日から14日までの8日間で開かれた。

三木町土地開発公社の経営状況に関する書類の提出についてなど2件の報告事項と、先決処分の承認を求めることについて(三木町税条例の一部を改正する条例)などの8議案が上程され、各委員会や本会議で慎重に審議し全議案を原案どおり可決した。

一般質問では、8人が登壇し、学校給食の安全性、総合子ども園構想、防災計画の見直し、幼稚園の統合、町民の健康・福祉の向上充実、新川改修事業、インフラの整備、政治姿勢について、町長の見解を求めた。

また人事案件では、任期満了に伴う監査委員1人の選任に同意し閉会した。

## コミュニティ助成金 大幅に増額

### 平成24年度一般会計補正予算(第1号)

**問** 総務費企画広報費の自治総合センターコミュニティ助成金の内容と周知方法を問う。

ニティ助成金3件が助成を受けた。鍋淵集会所の新築、南山田獅子連、塚脇自治会、重元・石ヶ坪大獅子保存会が獅子関連の備品の助成を受けた。申請のための周知は、制度利用の問い合わせがあれば紹介してきた。

**答** 政策情報課長

宝くじを財源とする助成金制度で、今年度はコミュニティセンター助成金1件、一般コミュ

### 一般会計予算を補正

会計名	一般会計(第1号)
補正額	1,833万5千円 <small>追加</small>
補正後の総額	80億8,833万5千円

# 議案を 審議

# 防災施策に要する財源確保 町民税均等割り 年額500円を加算

**ひとり親家庭・医療  
制度における一部  
負担限度額の撤廃**

**問** 市町村民税課税世帯に属する方は、入院1レセプト500円、外来1レセプト250円を自己負担していたが、平成24年8月診療分からその全額を撤廃する。

**問** 所得の高い世帯も該当するののか。

**答** 住民生活課長

所得制限を設定しているのですが、所得の高い方は対象外となる。

**重度心身障害者・医療  
制度における一部  
負担限度額の撤廃**

市町村民税課税世帯に属する方は、入院1レセプト1000円、外来1レセプト500円を自己負担していたが、平成24年8月診療分からその全

額を撤廃する。

**問** 改正による町財政への影響は。

**答** 健康福祉課長

自己負担を全廃することにより300万円ほど、支出が増える予想である。

**外国人登録が廃止に**

**問** 外国人登録制度廃止にかかる詳細説明を。

**答** 住民生活課長

外国人住民の利便性の向上および市町村の行政事務の合理化を図るための改正。

3カ月を超える在留期間が決定した外国人住民は、住民票が作成され、国民健康保険への加入もある。

**防災費用を捻出**

**問** 町民税の均等割り引き上げの目的と、

# 人事

監査委員

太田一司氏の  
選任に同意



初就任  
大字池戸(52歳)

引き上げによる増額金額は。

**答** 税務課長

防災施策に要する減災事業の地方負担について、財源手当を国に依存することなく、地方税において地方団体自ら財源を確保するため、町民税の均等割り年額500円を加算する。10年間で6800万円の増収を予定している。

# 議会 の 動 き

4月

2日 議会広報編集委員会

4日 議会会役員会

10日 議会広報編集委員会

13日 議会広報編集委員会

5月

17日 議会会東日本大震災現地視察研修(宮城県)

10日 総務建設常任委員会

14日 教育民生常任委員会

24日 下水道推進特別委員会

6月

1日 議会運営委員会

7日 第2回定例議会開会(議案の上程、質疑)

8日 議会運営委員会

8日 議会広報編集委員会

8日 総務建設常任委員会

12日 教育民生常任委員会

14日 本会議(一般質問)

14日 本会議(議案の質疑、討論、採決、追加議案の上程、採決)閉会

14日 本会議(議案の質疑、討論、採決、追加議案の上程、採決)閉会

14日 本会議(議案の質疑、討論、採決、追加議案の上程、採決)閉会

14日 本会議(議案の質疑、討論、採決、追加議案の上程、採決)閉会

14日 本会議(議案の質疑、討論、採決、追加議案の上程、採決)閉会

14日 本会議(議案の質疑、討論、採決、追加議案の上程、採決)閉会

14日 本会議(議案の質疑、討論、採決、追加議案の上程、採決)閉会

27日 議会広報編集委員会

25日

26日 下水道推進特別委員会視察研修(高知県梶原町、多度津町)

## 8人が町政を問う

### 問 学校給食の安全性を問う

答 安心安全の確保に努めている



一般質問

村松 修議員

今年4月の新聞欄で、学校給食の中に包丁の破片が混入し、飲み込んでいたり、また、炊飯器の中に金属片が交じっていたりした記事が掲載されていた。

将来ある子どもや若者が、このような件で障がいを負う、または命を奪われるといったことにならないためにも、本町の安心安全の学校給食についての取り組み方を伺う。

教育長

作業前の衣服の点検、食品納入時の検収担当者による箱・袋の破れや汚れ、品質・鮮度・包装容器等の確認をしている。



▲一つずつ手洗いされる野菜(平井小)

乾物類は、前日に袋を開封し異物混入の確認をし、野菜などは、シンクを違えて3回洗浄している。また、包丁や調理カッターは、使用前後に刃の欠けの確認をし、調理器具は、清掃・洗浄に合わせて点検し、調味料は、容器に移し替えて安全確認をして使用している。

三木町表彰条例の制定は

三木中学校の学校医である先生が、中学生の健康管理に生活習慣病早期改善対策として、血液検査を行い、食生活・運動等の助言を24年間も続けてきており、係る費用は自前で取り組んでいる。

こうした先生の行為が荣誉にあたるのか、名誉となるのか、何か考えているのか伺う。

町長

長年、本町の健康福祉行政に献身的な尽力をされた方であり、その功績に心より感謝を申し上げる

次第である。

本町では、条例に基づき、5年に一度、三木町表彰審査委員会の諮問を経て、表彰を行っている。春秋叙勲については、関係団体の推薦等を受けて、県が国へ上申するものとなっている。

防災倉庫資機材の取り扱い説明を

このたび防災倉庫(コンテナ)を9カ所設置し内容は広報で知らせているが、一度収納品の使用説明、また、地域に沿った指導も含め、防災倉庫設置区域

参事・総務課長

の関係自治会に周知することで、少しでも危機意識の向上につながるのではと思うが、町としての考えを伺う。

防災倉庫にある資機材の取り扱い説明は、より効果的に体験・習得等してもらうため、地域の自主防災組織が取り組む訓練の中で地元の消防団員を交え、実際に資機材を使いながら取り扱い方法等を説明していきたいと考えている。



▲防災倉庫内の資機材

# 問 町道正一駒足線の現状は

**答** 平成27年度完成予定である



一般質問  
藤井 匠 議員

地元集落では、早く開通させてほしいとの要望がある。  
完成の見通しと完成までの費用は。

度完成予定である。  
2カ所の用地の交渉が難しいのが現状である。

土木建設課長  
現計画では平成27年

開通までの費用として、国の採択残事業費は1億5000万円である。

町内保育所を総合子ども園に移行する準備は怎么样了のか

町内の公立保育所2園、私立保育所5園を総合子ども園へ移行する場合、どんな準備が必要か。

第5次三木町振興計画でも幼児教育が重要であることはうたわれている。三木町の幼児教育はすばらしいと言われるような幼児教育をしてもらいたい。

## 町長

教育内容の充実、教員の資質向上、施設整備の充実等は、現状の保育業務である程度補える。

「子ども・子育て新シ



▲用地の交渉が難しい正一駒足線

国、県の動向を注視していく。

町内の観光開発の取り組みは

自然を生かした、観光資源（金のかからない）を掘り起こし、最初小さく、大きく育てよ。

## 町長

本町には、歴史や文

ふるさと自然のみちの整備とPRは

里の池めぐりの道をPRし、ホテルが息する水辺沿い歩きを提案する。

## 町長

ホテルの生息地を巡る提案については、町観光協会が各地区の組織に対し、イベント開催への助成を行っており、この中にホテルの養殖、保護、自然環境の管理も含まれており今後、地元の状況、意向も十分把握し協議を行う必要がある。



▲子どもたちはまちのたからもの（下高岡保育所）

# 問 防災計画の見直し急げ

## 答 平成25年度内着手の見込み



一般質問  
香西 義典 議員

東南海・南海地震が、今後30年以内に50〜60%の高い確率で発生すると想定されている。

このたびの東日本大震災を踏まえ、この様な地震規模に充分対応できる防災計画の見直しの策定が急務でないか。見直し時期と、主な修正ポイントについて伺う。

町長 国の被害想定を用いて県内の地震・津波被害想定を、香川県が平成24年度内を目途に取りまとめを行うとしている。本町では、これら国や県が修正した資料を活用する必要がある。

り、本町地域防災計画の見直し時期は、平成25年度内着手の見込みである。

修正ポイントは、災害予防、災害応急対策、災害復旧を3本の柱とする抜本的な修正を要すると考えている。

### 治水・内水対策は

浸水被害のある地域の流域ごとの問題点解決の抜本的解決は。

### 土木建設課長

氾濫する水を強制排水する排水機の施設による内水被害を防ぐことと、上流域の河川整備の早期完了

である。

今後、新川および吉田川の河川整備の進捗状況を見ながら、それぞれの地域ごとの対策を検討する必要があると考えている。

### 水道施設の耐震化を急げ

基幹管路の耐震化率、基幹施設の耐震化率の現状は。

### 上下水道課長

基幹管路・口径が150ミリメートル以上の耐震化率は約2・5キロメートル、4・5%で、基幹施設の配水池の耐震化率は83%である。

## 一般質問

香西 義典 議員

雨水を受水している田中・鹿庭・池戸配水池の耐震性能はレベル2で、緊急遮断弁も設置している。

※耐震性能レベル2とは、軽微な被害が生じても、その機能保持が可能であること。

### 空き家・廃屋対策は

町内の実態調査はできているか。

### 町長

町独自の実態調査は実施していないが、総務省が5年に一度の住宅・土地統計調査を行っており、平成20年10月1日現在で、本町では住宅総数1

万2830戸、うち、空き家総数は1810戸となっている。この調査は全戸調査でなく、およそ4分の1の住宅を対象とする抽出調査のため、結果は推定値である。

空き家・廃屋の適正管理を求める条例を制定する考えは。

### 町長

所有者等が撤去費用等の負担を負いきれないため、条例化による実効性に乏しいと考えられる。また、適正な管理のための公費投入は、自主的な撤去が敬遠されることとなるため、現時点では、町独自の条例を定めることは難しいと考えている。

### 通学路の児童・生徒の安全対策は急務であるが

通学路の総点検は。

### 教育長

現在各学校でPTAの協力を得て、横断歩道や信号機の設置、ドライバークの目線にたった通学路を明示する道路標示・標識の設置、スクールゾーンの設置、見守り隊の協力を得たいところ、通学路の変更など危険箇所の詳細をとりまとめている。

今後、警察や道路管理者等と連携して点検し、関係部署に要望するなど通学路の安全確保を鋭意推進して行きたいと考えている。



▲通学路の安全対策が待たれる(平木地区・荒木)

# 問 新しい幼稚園を

## 農業試験場跡地に誘致を

### 答 これから検討していく



一般質問  
西丸 一明議員

平井幼稚園の統合の際の幼稚園の建設予定地として、県農業試験場三木分場跡地を提案する。  
この場所は、交通の便も非常に良いところである。

町長

いずれにせよ、今後どのような施設で、財源は、場所は、時期はといったふうに進んでいくことになる。

#### 民間保育所との共存 共栄のあるべき姿とは

「すべての子どもへの良質な成長環境を保障し、子ども・子育て家庭を社会全体で支援する」という目的をいかに担保できるのか。

教育長

審議会の答申で指摘されているように、今後、お互いの役割も尊重しつつ、共存を考慮に入れておく必要があるものと考えます。

#### 子育てサポート課 (仮称)の新設を

平井幼稚園の統合に

よる幼稚園構想では、町内の他の幼稚園のあり方も、地域での子育てサポート施策も同時に進めていかなければならない。

受け入れ体制を急げ。

町長

国の動向も注視しながら、形になるものが見えてきた時点で、取り組んで行きたい。

#### 町内の3歳児・3歳未満の入園・入所数 (率)の実態を示せ

教育総務課長

3歳児では、幼稚園は103人(50%)、保育所は102人(50%)である。

#### 民間格差をなくせ

幼稚園に通っている幼児と保育所に通っている幼児がほぼ半数であり、自宅での保育も6割になっている。幼稚園と保育所での幼児教育の格差を懸念している。

教育総務課長

就学前の準備段階の教育機関として、それぞれの役割の中で、良質な教育関係を保障していきたい。

#### 幼保一体化を目指す べきでないか

子どもを産み育てら

れる社会環境整備が急務である。  
「子育て日本一」のま

ちを目指して欲しい。

町長

幼保一体化は長年の目標であり、周辺住民とも融合した新しい幼稚園教育を目指していきたい。

教育長

教員の資質向上や質の高い教育の提供を目指し、新しい町内幼稚園体制を構築する。  
次代を担う子どもたちが十分な教育を享受できるような教育環境を創り上げることに、熱意をもって取り組んで行く覚悟である。



▲県農業試験場三木分場跡地

# 問 交通事故対策の

## 検討を求める

### 答 計画的に改善していく



一般質問  
渡辺 達実 議員

京都での小学生登校時の交通事故をはじめ、全国で交通事故が多発している。町内での悲惨な事故を起こさないために、今何をすべきか一緒に考えていきたい。

#### 教育長

町内を点検すると、歩道のない通学路や、見通しの悪い交差点などの危険な箇所や、交通量の多い場所、車の速度が速くて危険な場所など100カ所あった。子どもたちの登校時の悲惨な交通事故をなくしていくために、短期および、中・長期的な見通しを立て改善していく。

「改正国民健康保険法」は町にどのような影響をもたらすのか

国保税や介護保険料が高くならず、町民は払いたくても払えない状況である。

町民の健康を願う立場から、軽減策を講じることが強く望んできたが、今回成立した「改正国保法」は、保険者の広域化が中心で、町民へさらなる負担の増大を求めている。国に対して町民の厳しい生活状況を伝え、制度を改善するよう働きかけてほしい。

#### 町長

平成27年度から、

国保会計の財政運営の都道府県単位化が

推進されるものである。今後、情報収集に努め、国・県に対して、適正な広域化へ移行できるように必要な要望をしていく。

#### 商工業の施策の充実を願う

住民福祉の向上と商工業の活性化につながる住宅改修をする世帯に補助をする「住宅リフォーム」助成制度の創設を求めているが、実現していない。県内他市町での状況を調査検討してほしい。

#### 町長

福祉施策として障がい者のいる世帯などが行う住宅改修や、防災対策としての住宅耐震改修に対する補助制度はある。補助制度の情報提供を行い、住宅リフォームと合わせた耐震改修が行われるよう積極的に誘導していく。

#### 太陽光発電システム設置補助金制度はどのような状況か

さぬき市が、居住環境の向上、定住の促進、地域経済の活性化を図るため住宅リフォーム助成制度を創設している。

東日本大震災、そして巨大大津波により破壊された福島原子力発電所。今、原子力発電所の再稼働問題で、電力の動向に関心が集まっている。4月から開始された補助制度の状況、また、今後の考え方を問う。

#### 環境保全課長

6月現在で、40件の制度利用申請が上がっている。400万円の予算執行予定となっており、残りの予算は100万円となっている。

#### 庁舎増築計画の内容を問う

庁舎西側駐車場に会議室4室を増設する予算が組まれている。必要なものか検証されたい。

#### 参事・総務課長

現状の本庁舎の会議室が絶対的に不足していることから、会議室棟を新築する。鉄骨2階建て、延床面積554平方メートル、1階は車庫、2階が会議室である。完成は11月末の予定である。

#### 町長

町民のみなさんの制度への評価の高さ、申し込みの多さに驚いている。今後の申請状況等を見ながらどうしていくか検討していく。



▲太陽光発電

**問** 「獅子たちの里 三木まんで願。」に町職員はボランティアとして参加するのか

**答** 町職員だけでなく、各方面にそのようなお願いをしている

多方面へボランティアの参加を要望する町長の思いは。

**町長**

これまで以上に多くの住民の皆さんにボランティアとして参加・協力をいただき、楽しみながら祭りを盛り上げていきたい。町職員には、その先頭に立つよう働きかけている。



▲中心となる学園通り駅

平成24年度新川改修工事の予定は

**土木建設課長**

本年度は琴電鉄橋上流の住吉堰を可動転倒堰にする工事が予定されている。工期はこの秋口から2年。

これが完成すれば、河床が1・5m下がる予定で、古川の水も新川本流に流れやすくなり、浸水地域解消に貢献するものと思われる。

毎年洪水の危険にさらされる新川沿岸に住む住民の感情としては、少しでも工事が前倒しして進むよう県への働きかけをお願いする。



**一般質問**  
十川 治郎 議員



▲新川と古川の合流点

**大地震に対する備えは**

本町の<sup>\*</sup>大規模ため池(貯水量10万㎡以上)の耐震診断とハザードマップの作成状況は。

**町長**

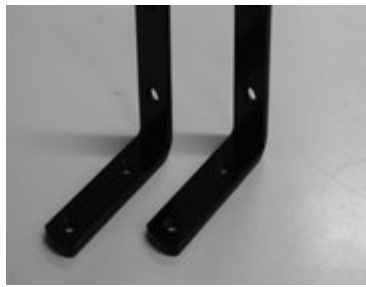
本年度はハザードマップ作成を7池、耐震診断4池を予定している。

<sup>\*</sup>本町の10万㎡以上のため池14カ所。

高齢者世帯への家具固定金具支給制度について尋ねる。

**町長**

満70歳以上の高齢者世帯約2200世帯を対象に、家具の転倒を防ぐL型金具を支給(居間・寝室のみ)する。金具の取り付けが困難な世帯は、シルバー人材センターに作業を依頼。



▲転倒防止金具

秋頃から順次無料で設置予定である。

一般家庭の耐震診断・耐震工事の補助制度について問う。

**土木建設課長**

診断に要した費用の3分の2、6万円を限度とし、耐震工事は費用の2分の1、60万円を限度として補助金を交付する。

今年度予算は、耐震診断10件分、耐震工事3件分の計240万円である。<sup>\*</sup>昭和56年以前の旧耐震基準の家は町内家屋の約40%である。

**幼稚園教育の重要性について問う**

「子ども子育て新システム」は「認定子ども園」の改正に姿を変えたように見えるが、2つの施策の根幹(待機児童の解消・質の高い幼児教育)は同一で

あると思う。幼稚園教育の指針となる幼稚園教育要領について尋ねる。

**教育長**

幼稚園は、学校教育法で「義務教育、その後の教育の基礎を担う教育機関である。」と規定されている。

「基本的生活習慣や体づくり」、「人間関係づくり」、「聞く力・話す力づくり」など大きく5つの領域を、これを組み込んだ遊びを通して習得し、後の小学校教育につながることを期待されている。



▲水上幼稚園の皆さん

「本当の知恵は大学院でなく、幼稚園の砂場にある。」  
ロバート・フルガム著より

# 問 少子化対策は

## 答 子どもたちが健やかに

### 生まれ育つ環境を整える



一般質問  
高藤 周介 議員

全国各地より子育て世代の移住促進対策を行うべきでは。

#### 住民生活課長

子育て世代の方が安心して住みやすく、また、子どもを安心して産み、育てられる環境づく

りに取り組んでいく。

三木町に公立の産科の病院を。

#### 健康福祉課長

膨大な資金の裏付けと地元との協力などが必要で、国・県の補助金制

度の、有無などについて十分に調査議論する必要があると考えている。

三木町独自の子どもサポートプランは。

#### 住民生活課長

子育て支援券交付

事業により、新生児を養育する世帯の経済的な支援や町内事業所の活性化を図っている。ひとり親家庭等に対する医療費の自己負担の撤廃などの子育て支援施策に取り組んでいる。



▲働く女性の子育て支援の充実を



▲未来をにう子どもたち

更新期を迎えた  
インフラの整備は

水道事業耐震化計画は。

#### 町長

早期に耐震診断を実施し補強や改修などを計画的に取り組む。

上水道の整備事業計画は。

#### 町長

石綿セメント管等の老朽管の布設替工事、耐震化の推進、水道施設の改修、給水環境の向上に努めている。香川県全域を対象とした県内一水道事業統合を検討している。

災害時に必要な水の管理は。

#### 町長

東南海・南海地震を想定し緊急遮断弁を設置し、6260立方

メートルの飲料水を確保できる。断水被害が生じた場合に、速やかに応急給水でき、迅速に応急復旧できる体制の整備に努める。

災害緊急トイレの設置は。

#### 町長

平成23年に完成した9カ所の防災倉庫に、簡易トイレを配備している。本年度から設置計画のある防災倉庫にも順次簡易トイレを配備していく。

#### その他の質問

○適切な消防水利の確保として防火水槽の設置を推し進めよ。



# 問 公共施設の耐震化

## 事業の進捗状況は

**答** 耐震診断は本年度中に終了する



一般質問  
原田 照治 議員

東海・東南海・南海地震に対する震災・災害対策は喫緊の課題である。

学校教育施設以外の公共施設の耐震補強工事の状況を問う。

町長

耐震化事業の対象となる公共施設は24棟



▲耐震補強が必要な福祉センター

で、その内、耐震診断が未実施の施設は1棟だが、この施設については本年度中に実施する予定にしている。

耐震診断の結果、耐震補強工事が必要とされた施設で、未着手は福祉センター1棟である。

一般住宅の耐震診断の進捗状況と町の今後の方針について伺う。

町長

昭和56年以前に建てられた木造家屋は、全体の約47%で、その内、補助金を活用しての耐震診断が8件、耐震改修工事が1件である。

今後、補助制度を活用して、リフォームに合わせた耐震改修が効果的であることを説明するなど、積極的に誘導する。

大規模な災害で、県内の自治体が被災した場合に、県内の市町間で締結している相互応援協定では、市町間の応援が期待できないため、県外の自治体との応援協定が必要ではないか。

参加・総務課長  
今後、県など関係機関の指導も受けながら県内の自治体だけでなく、県外の自治体との応援協定も考えたい。

### 通学路の安全対策

最近、通学途中の児童を襲った悲惨な交通事故が多発している。こうした中、歩道やガードレールの設置といったハード面の対策だけでなく、集団登校のあり方を含めた

総合的な対策が必要と思うが、教育長の所見を問う。

教育長

集団登下校は、今日的には不審者から児童を守るなどの意味が極めて大きく、上級生が下級生をかばいながら登校する姿は、大変ほほえましいものである。しかし、登下校中の痛ましい事故が多発しているこの機会に、これまでの登下校のあり方や指導について、保護者や地域の見守り隊等の意見に耳を傾けることは、登下校の安全確保により有意義なことであると考えている。

### 福祉施策の充実を

本町では平成24年度から28年度を計画期間とする「新地域福祉計画」が策定されている。今後、福祉全般を取り巻く環境が多様多様化

する中、社会情勢の変化等に的確に対応した福祉施設の一層の充実が求められると思うが、今後の取組みについて問う。

健康福祉課長

地域福祉計画の趣旨を念頭に置き、高齢者福祉では、家具転倒防止器具支給事業や肺炎球菌ワクチン接種助成事業を実施する予定である。

また、障がい者福祉では、障がい者の経済的負担の軽減を図るため、医療費支給に係る自己負担の撤廃を今期定例会に上程している。

このほか、社会福祉協議会では、1人暮らし高齢者や70歳以上の高齢者のみの世帯を対象に、「もしも・・・」のときに命の情報を伝える「救急医療情報キット」を無料配布する予定と聞いている。

# 委員会 レポート

## 総務建設

5月開会

### 陳情書を審査

「子供たちに帰宅時間を知らせるための、夕方5時にメロディーを鳴らしてほしい」という陳情に対して採択すべきと決した。

また、「公園遊具の整備を要望する」陳情に対しては、町都市計画マスタープランの策定も予定されており、継続審査とした。

**問** 遊具の安全基準を満たしていないものは撤去されるとのこと



▲高松市・峰山公園『はにわっ子広場』の遊具

とだが、新たに整備はしないのか。

**答** 土木建設課長

新しく遊具を設置するには相当な費用もかかるため、費用面も考える必要がある。

## 教育民生

5月開会

### 継続審査とすべきことに決定

町が想定している「認定こども園」につ

いては、時期尚早であるとの陳情書を審査した。

**問** 今国会の、子ども・子育て新システム

関連3法案の審議を見て、その結果で判断すべきで継続審査すべきではないか。

**答** 教育長

平井地区の幼稚園の統合が核心であって、認定こども園は、幼稚園型、3歳から5歳までのものであり、私立の保育所や幼稚園の役割に十分配慮している。

## 下水道推進

5月開会

### 3月以降の町の取組み状況の報告を受けた。

農業集落排水事業三木東地区の計画見直しにより、区域から除外される西土居地区の説明会、三木

東地区推進協議会総代会の報告があった。処理場周辺住民との話し合いは、進んでいない状況である。

**問** 農業集落排水事業と公共下水道との

接続に伴う、国・県の補助金はどうなっていくのか。

**答** 上下水道課長

国段階では、国交省および農水省による補助金負担の調整が行われている。

**問** 問題解決のための努力を求める。

**答** 上下水道課長

周辺住民の理解を得られるよう努力していく。また、事業計画の変更が完了すれば、処理場の全体像の基本設計、各施設の詳細設計を業者に委託し、事業の推進を図りたい。

## 請願・陳情のゆぐえ

平成24年 陳情第1号 (平成24年2月22日 受付)

子ども達の生き活きとした活動環境の整備と場の提供を求める陳情書

【要旨1】「帰宅時刻を知らせるための夕方5時にメロディーを鳴らす」

【要旨2】「子ども達が生き活きと活動できる場と公園遊具の整備を要望」

採 択

継続審査

木田郡三木町大字鹿伏335番地4

地域で子育てを考える会 代表 富田 加織 賛成者署名延べ1242名

平成24年 陳情第2号 (平成24年3月5日 受付)

新システム保育制度改革に関する要望書

三木町私立認可保育所所長会 大宮保育園 園長 貞中 明美 他4園・所長

継続審査

(平成24年6月6日 受付)

国の保育制度改革に関する陳情書

香川県高松市今里町1丁目7-2 香川保育問題連絡会 中田 耕次

議員配布

# 追跡 第23回

## レポート

どう  
なっとんは？



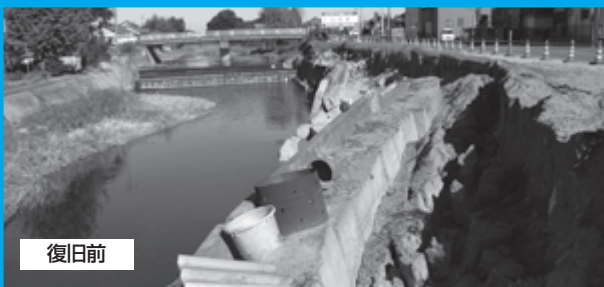
### 破損堤防の補修予定は

平成23年台風12号による氷上橋下流  
左岸の堤防破損箇所の補修予定を問う。  
平成23年9月 一般質問

### 町長答弁

フトンかごによる仮復旧工事をする。  
(後に本復旧工事に変更)

### こうなりました



復旧前



復旧後

▲完全復旧した氷上橋下流

### 獅子舞フェスタの中止を問う

獅子舞フェスタ中止は百眼百考会議で  
決定したと聞いたが、その経緯は。  
平成23年9月 一般質問

### 町長答弁

開催には少なくとも6カ月程度の準備  
期間が必要であり、やむなく中止する。

### こうなります

主会場を町中心部に移し、本年10月  
27日「獅子たちの里 三木まんで願。」  
とし、町をあげての準備が進行中。



▲ベルシティと文化交流プラザ間の町道

# 元気なグループ紹介

## 一本杉ほがらか会 代表 箭田 昭子

二本杉ほがらか会は、平成14年4月、気心の知れた人たちで始まった会です。

始まったころは、皆若かったのですが、今では平均年齢七十ウン歳。でも、高仙山山頂公園で「さんさい茶屋」をみんなで力をあわせがんばっています。

手打ちそば、うどん、ちらし寿司、さんさい天ぷらなど、当店のおすめは、何といつても手打ちそば。一年中食べられます。心を込めて打っています。

行事としては、元旦の初日の出鑑賞会（餅つき・甘酒・くじびき等）、4月は竹の子狩り（みき広報で募集）、5月中ごろ芋さし、秋には芋掘り、また、16名以上で手

打ちそば、竹細工等の体験を受け付けています。ぜひご参加ください。

### 【営業時間】

3月中ごろ～  
11月末ごろまで  
日曜・祭日  
午前10時～午後4時



▲気心の知れた仲間と



▲自慢の手打ち田舎そば

三木町が一望できる高仙山山頂公園へ、ご家族・お友達で一度お越しください。  
鳥のさえずり、木々の中を渡ってくる風を体感してみてください！  
さんさい茶屋「同心よりお待ちしております。

## 石原收前町長 急逝

本年7月4日、逝去されました。



石原 收 氏  
享年77

石原前町長は、昭和46年より町議会議員を4期、昭和61年町長に当選後連続6期務められました。  
同氏の長年にわたる町政への功績をたたえるとともに、安らかなご冥福を心よりお祈り申し上げます。

## 東日本被災地で研修

議員会で4月17日、18日に宮城県仙台、気仙沼など災害被災地において、被災復興状況などを視察した。また、多くの児童が被災した大川小学校では全員で献花をした。今回の研修では、災害について多くのことを学ぶことができた。今後の三木町の防災活動に今回学んだことを活かしていきたい。

## 編集を終えて

この議会だよりが、みなさまのお手もとに届くころには田植えも終わり農家の方は一段落している時期だと思えます。

世界に目を向ければギリシャに端を発した欧州債務危機、国内に目を向ければ消費税増税を柱とする社会保障と税の一体改革関連法案の国会混乱と、なにか大きな変化が起きる前兆のような気がします。

わが三木町に目を向ければ、懸案の農業集落排水事業も公共下水道とつなぐ方向で方針が一本化して事業が進んでいます。また、昨年中止となった「獅子舞フェスタ」が名前を「獅子たちの里、三木まんて願。」と変えて町の中心部で開催されます。みなさま、楽しみにお待ちしております。

(藤井 匠)

【議会だよりは私たちが編集しています。】

- |       |       |
|-------|-------|
| 編集委員長 | 富田 修司 |
| 副委員長  | 渡辺 達実 |
| 委員    | 香西 茂知 |
| 委員    | 香西 義典 |
| 委員    | 村松 修  |
| 委員    | 藤井 匠  |
| 委員    | 十川 治郎 |
| 委員    | 高藤 周介 |